



人や地域の
未来を考え、
生活をより
豊かに。

株式会社鳥取クリエイティブ研究所

[HOME](#) [ABOUT](#) [SERVICE](#) [NEWS](#) [ACCESS](#) [CONTACT](#) [LINK](#)

SCROLL

NEWS

2020.05.12

鳥取県若桜町落折集落でのワサビ栽培による活性化～平…

2020.05.12

藻場ブロックの海藻の成長モニタリングを行いました

株式会社 鳥取クリエイティブ研究所

〒680-0404 鳥取県八頭郡八頭町見櫻中154-2 隅Lab. TEL 070-3775-5298

© Tottori-Deco, All Rights Reserved.

ABOUT — 私たちについて

株式会社鳥取クリエイティブ研究所は、平成17年設立の有限会社アイ・シー・イー（野田英明社長）から事業継承し、平成28年12月に商号変更および社名変更して新たに出発した会社です。現在、鳥取県内において風力、水力発電事業などの再エネ事業のコンサルティング業務を展開しています。また石炭灰と鳥取県から排出されるフェロニッケルスラグを混合した藻場造成ブロックの共同研究・開発事業や特殊エジェクターを利用した河口海岸域や中小漁港内での土砂輸送に関する調査研究事業のほか、再エネ事業にともなう環境アセスメント調査業務など広範な業務を実施しています。最近は、鳥取県内に限らずに、県外や首都圏の新しい方々との出会いを通して、今以上に地域に根ざした技術社会実装を行い、地域貢献に繋がる新規ビジネス展開を目指しています。

ABOUT

株式会社 鳥取クリエイティブ研究所

〒680-0404 鳥取県八頭郡八頭町見櫻中154-2 隅Lab. TEL 070-3775-5298

© Tottori-Deco, All Rights Reserved

MESSAGE —
メッセージ

ごあいさつ

株式会社鳥取クリエイティブ研究所代表の松原雄平です。鳥取大学工学部ならびに工学研究科で海岸工学、水産土木工学、感性工学、環境科学などの分野で長年にわたって研究を行ってまいりました。この中で、感性工学、再生可能エネルギー、そして海岸工学を基幹とすエンジニアリングを特に注力して研究してまいりました。感性工学とは、住民の感性やイメージをデザイン要素に翻訳し、住民の感性にあった物をデザインする技術です。再生可能エネルギーとは、太陽光、水力、風力、バイオマス等の枯渇せず再生可能なエネルギーです。そして、海岸工学とは、海岸および沿岸域における波、流れ、砂の動き、海岸構造物、水質、生態系、計画等について方法や技術を研究する分野です。これら3つの分野の英訳、Design、Energy、COastの頭文字からロゴとして「DECO」としました。明日の鳥取を豊かにするために、新しい技術を開発あるいは導入し、DECOの社業を通して、さまざまな分野で貢献・拡大していきたいと思っております。

ABOUT

株式会社鳥取クリエイティブ研究所
〒680-0404 鳥取県八頭郡八頭町見櫻中154-2 隼Lab. TEL 070-3775-5298
© Tottori-Deco, All Rights Reserved



代表取締役

松原 雄平

最終学歴

鳥取大学大学院 工学研究科
土木工学専攻修了

取得資格

工学博士（大阪大学）
2000年3月学位取得

職歴

1978年4月
鳥取大学工学部助手に採用され、
助教授を経て2000年から2017年
まで鳥取大学工学研究科教授
この間、1992年韓国釜山水産大
学校客員教授で韓国に1年滞在
2016年12月
株式会社鳥取クリエイティブ研究
所 所長
2018年5月
同社 代表取締役
現在に至る

専門分野

海岸工学、水産工学を中心とした
工学応用分野、海岸防災、地域防
災力向上に関する分野、感性工学
による景観評価等

趣味

ソフトボール（ピッチャー）を続
けて約30年、今年も全国大会へ出
場を果たす！
最近はゴルフも

〉 会社概要

会社名

株式会社鳥取クリエイティブ研究所

所在地

〒680-0404 鳥取県八頭郡八頭町見櫻中154-2 隼Lab.

資本金

1,000万円

役員

代表取締役 松原雄平

取引銀行

鳥取銀行／山陰合同銀行

事業内容

- ・環境コンサルティング・センシング業務
- ・環境全般に係る研究、企画、調査、解析
- ・防災コンサルティング
- ・防災全般に係る研究、企画、調査、解析
- ・再生可能エネルギーに関するコンサルティング
- ・再生可能エネルギーに関する研究、企画、調査、解析
- ・水産コンサルティング
- ・水産全般に係る研究、企画、調査、解析
- ・地域創生コンサルティング
- ・地域創生全般に係る研究、企画、調査、解析
- ・イベント、講演等の企画及び実施開催
- ・デジタルコンテンツの制作業務
- ・建築物の設計、建設工事、土木工事、土木建設資材の販売
- ・前各号に関する技術開発、機器開発
- ・前各号に関するソフト、書籍出版、印刷物、教材開発
- ・前各号に関する教育、学習、研修プログラムの提供、講師派遣
- ・前各号に関する機器の販売、賃貸、保守および管理の業務
- ・前各号に附帯する一切の事業



「環境」という言葉は、私たちを取り巻く周囲の事物や状態のすべてを指すわけですが、捉えどころのない曖昧模糊とした言葉です。しかし、その「環境」をさらに細分化して「自然的環境」と「社会的環境」という言葉で考えると、すこしは、具体的になってきます。その環境の中で、弊社はいくつかの事業を進めています。





たとえば自然界を吹き渡る風を捉えてエネルギーに変換するのが風力発電です。

この風力発電に関して、弊社は「海洋環境」の中での洋上風力発電事業ならびに「森林環境」の中での陸上風力発電をコンサルティングし再生可能エネルギーの創出に関わっております。いずれも、鳥取県東部での「環境事業」です。

また、島根県の石炭火力発電所から排出される石炭灰とセメントを混合したコンクリートで藻場海洋ブロックを作製し、これを鳥取県の沿岸域に試験設置しています。これは海藻が成長し商品化する事業であります、同時に、その成長過程で藻場を形成していくことで、「海洋環境」のCO₂固定を進めようとする環境事業であります。

いま、鳥取東部の二つの港内において、アカモクやアラメ、カジメなどの海藻群落が成長しつつあります。



さらに、鳥取県の中山間地において、養魚場の利用水や農業用水路においてマイクロ水力発電事業を進めようとしています。これは、林間環境を流下する河川水や用水の水流と落差を利用すれば、2kW程度の電力を取り出すことが可能になっているからです。鳥取県内には、こうしたマイクロ水力発電の候補地はいくつもあり、実際に発電が行われているところや発電に向けて地元調整を行なっているところもあります。

アルバート・ゴアアメリカ元副大統領が、2006年に環境保全に関する彼の活躍記録を綴った、「不都合な真実」というドキュメンタリー映画にあるように、今の自然的環境は、私たちに、どんどん不都合な方向に進んでいます。弊社の事業が、その地球温暖化などの進行に少しでもブレーキをかけることができれば幸いです。



SAFETY | 安心・安全

ENERGY | エネルギー

株式会社 烏取クリエイティブ研究所
〒680-0404 烏取県八頭郡八頭町見櫻中154-2 隼Lab.
TEL 070-3775-5298

© Tottori-Deco, All Rights Reserved.



2018年の西日本豪雨に続いて、今年は、佐賀県の水害や千葉県の台風による長期停電など、最近の自然災害は、被災の深刻さと頻度が大きくなっています。他県で深刻な自然災害が発生し、住民の皆さんのが悲嘆にくれているのをみると決して鳥取も他人ごとではありません。

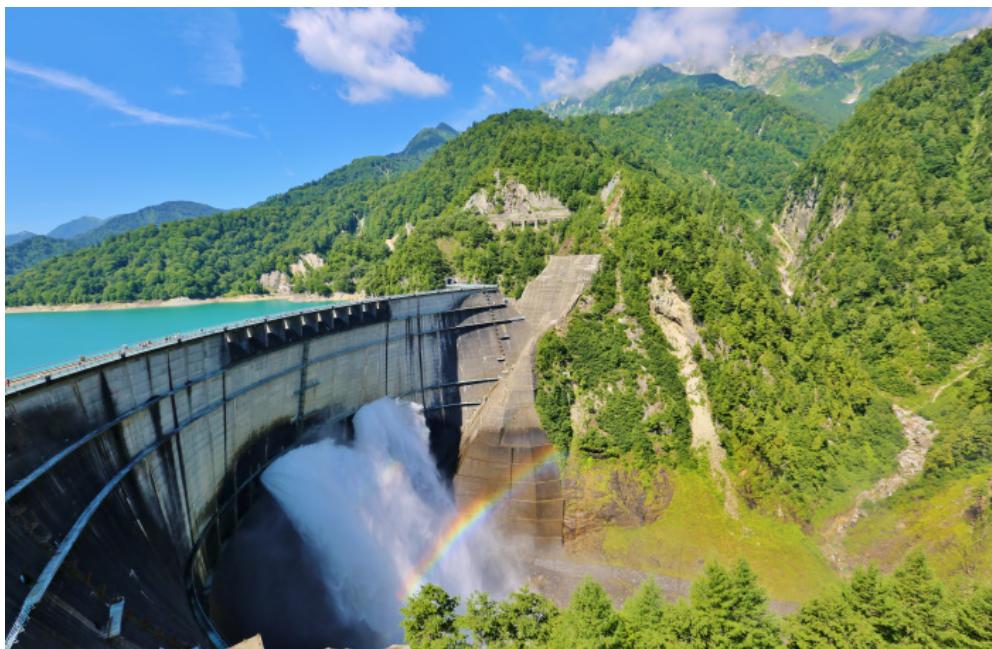




代表の松原は、地元のローカルFM局で「防災フリートーク」という番組を持っており、鳥取市民に地震、洪水、土砂から大雪、突風などの災害とその対応を呼びかけています。その時に応じた災害対応についてFM局のリスナーからも好評を得ております。

松原は、海岸・津波防災の研究歴も長いこともあり、鳥取県の防災顧問として地震・津波防災について防災を県内外で働きかけております。現在、鳥取市の地域防災リーダー養成講座、岩美町の防災支援者養成講座の講師や支援業務を行なっております。

また、大規模な自然災害時に、あらかじめ計画しておいた事業継続計画によって、組織の機能をいち早く回復させ、顧客からの信頼を一層厚くするBCP(Business Continuity Plan:事業継続計画)についても関係している。現在、国土交通省中国整備局が設けている建設業BCP策定審査委員や県のBCPアドバイザーにも関わっており、鳥取県内での安全安心に関わっている。



[ENVIRONMENT](#) | 環境

[ENERGY](#) | エネルギー



2011年3月11日の東日本大震災及び東京電力福島第一原子力発電所事故は、我が国の自然災害史で空前の災害をもたらしました。復興対応に追われる政府は、遅まきながら2014年4月、第4次エネルギー基本計画を、また2018年には、第5次のエネルギー基本計画を策定し、2050年を念頭に、原発依存度の低減、化石資源依存度の低減、再生可能エネルギーの拡大を打ち出しています。

注目すべきは、

- 再生可能エネルギー主力電源化を目指す
 - 化石燃料での非効率石炭フェードアウト・脱炭素化に向けて着手
- の2項目でしょう。
-

弊社は、現在、鳥取県内において、再生可能エネルギーの主力である洋上風力発電プロジェクト案件ならびに陸上風力発電プロジェクト案件をコンサルティングしております。事業者のスケールメリットから、どの事業案件も規模が大きく、それだけにコンサルティングも大変ですが、鳥取県にとっては大きな事業が進められる可能性が高く、チャンスと言えるでしょう。





まず洋上風力発電事業では、山陰海岸ジオパークの世界認証を獲得している鳥取ですので、沿岸域は景観の関係から風車の設置は困難であろうと思われます。しかし沖合海域であれば、景観の問題はほぼなくなり、その他、騒音ならびに低周波の問題からも解放されています。漁業者との調整は必要ですが、むしろ風車が漁礁の機能を果たして、漁獲増大につながるとも考えられますので、海域環境を損なわずに再エネを導入する方法を模索していきたいと思っています。

前述のように、弊社は鳥取県内で新たに進みつつある陸域での風力発電事業のコンサルティングを行なっておりますが、海域と違って、住民の居住される近くで風車建設の事業となります。低周波とか騒音、景観などについて住民の方々が懸念されることも理、解できます。国内の他の事業でもそうした問題が起きております。また、私どもは、市民の皆様に寄り添って、鳥取市にも、また、受け入れ地区の住民の皆様にも、また鳥取市にもメリットが返ってくる事業となるように努力したいと思っております。



ENVIRONMENT | 環境

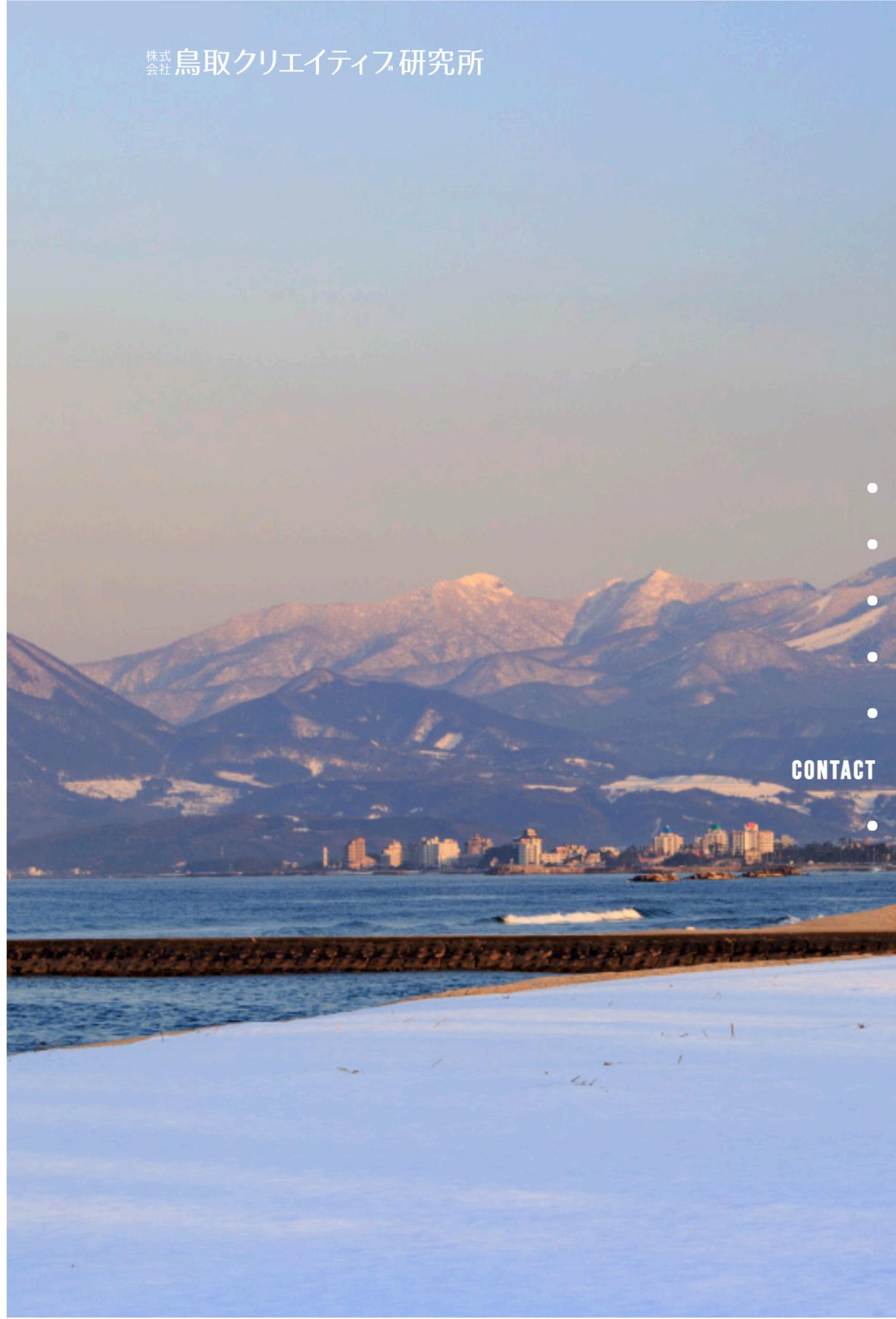
SAFETY | 安心・安全

株式会社 烏取クリエイティブ研究所

〒680-0404 烏取県八頭郡八頭町見櫻中154-2 隼Lab.

TEL 070-3775-5298

© Tottori-Deco, All Rights Reserved.



CONTACT

-
-
-
-
-
-

CONTACT — お問い合わせ

株式会社鳥取クリエイティブ研究所へのお問い合わせ・ご相談
は、下記の電話番号よりお気軽にお問い合わせください。

TEL 070-3775-5298

MAIL info@tottori-deco.jp

